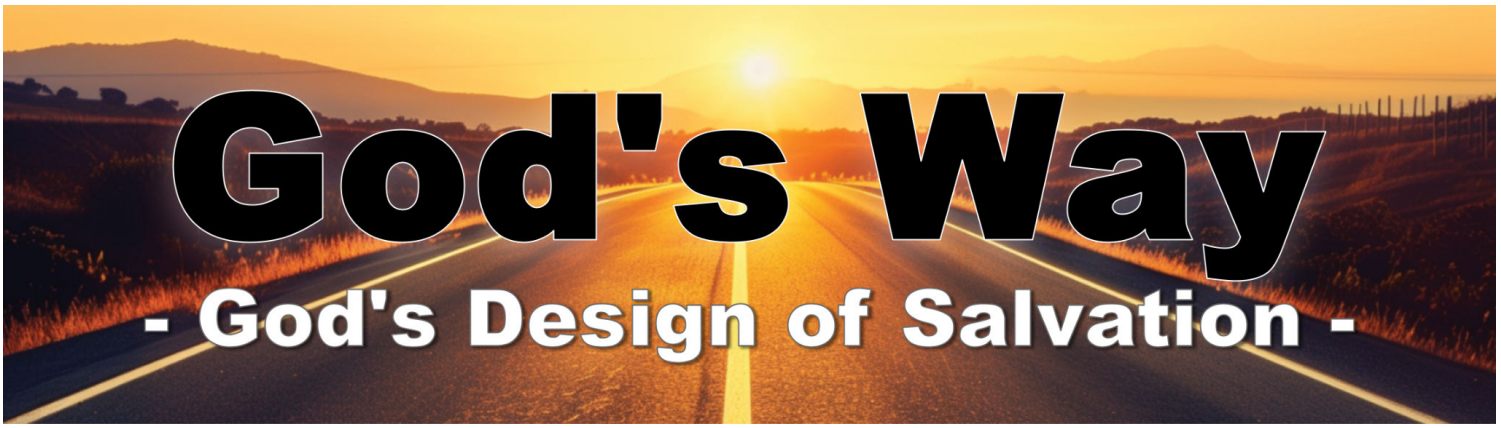


Week of June 28, 2026 - Circumcision of the Heart　　Small Group Lesson 7

知り合う

外的要因（ダイエットやスケジュール、またはアプリを使うことなど、新年の抱負を思い浮かべてみてください！）を変えることで、自分を変えようとしたことはありますか？ どれくらい続けられましたか？ うまくいきましたか？ それはなぜですか（うまくいった理由、いかなかった理由は何ですか）？

聖句　ローマの信徒への手紙 2:25-29（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

25あなたが律法を行うなら、割礼は役にも立つでしょう。しかし、律法に背くなら、あなたの割礼は割礼を受けていないのと同じです。26 だから、割礼を受けていない者が律法の規定を守るなら、割礼を受けていなくても、受けた者と見なされるのではないですか。 27 そして、体に割礼を受けていなくても律法を守る者が、あなたを裁くでしょう。あなたは律法の文字と割礼とがありながら、律法に背いているからです。 28 外見上のユダヤ人がユダヤ人ではなく、また、肉に施された外見上の割礼が割礼ではありません。 29 内面がユダヤ人である者こそユダヤ人であり、文字ではなく霊によって心に施された割礼こそ割礼なのです。そのような人は、人からではなく、神から誉れを受けるのです。

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか？

学び

今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1. 25節によると、肉体的な割礼という行為は、どのような時に本当に価値や益（役に立つこと）を持ちますか？ もしその人が「律法に背く者（律法を破る者）」であるなら、そのしるしの価値はどうなってしまいますか？

2. もし割礼を受けていない人が律法を守るなら、その人の立場は神にどのように見なされるでしょうか？ 律法を知っており割礼も受けているにもかかわらず、律法を破る者たちはどうなるでしょうか？（26〜27節）

3. 28節に基づいて、パウロは真の「ユダヤ人」であることの意味をどのように再定義していますか？「真の割礼」は、何に基づくものではないとされていますか？ それは目に見えるものですか？

4. 29節によると、「内面的な」ユダヤ人である人の特徴は何ですか？ この真の割礼を行うのは誰ですか？ それはどこにあるもの（どこになされるもの）ですか？ このような人は、誰からの称賛を求めますか？

分かち合い

話し合い　その１：

タケシ牧師は、「成田空港」と書かれたバスの行き先表示板（サイン）についての例え話を分かち合いました。私たちはその表示板に「成田空港」と書かれていることは知っていますが、その表示板自体が空港そのものというわけではありません。

このことは、洗礼（バプテスマ）を受けたり、教会に行ったり、良い行いをしたりすることとどのように比較できるでしょうか？ 神様との関係がなければ、なぜこれらの一見（外見）的な「しるし」は意味のないものになってしまうのでしょうか？

話し合い　その2：

タケシ牧師は、何よりも神に従い、神を喜ばせたいという思いから、破門や死の危険にも直面する覚悟があったマルティン・ルターについて語りました。私たちの心が聖霊によって本当に変えられるとき、私たちは人からではなく、神様からの誉れ（称賛）を求めるようになります。現在、あなたの生活の中で、神様からよりも人からの称賛や承認を求めてしまいそうになるのは、どのような分野においてですか？

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。